

U.S. Indicators

発表日: 2023年11月8日(水)

米国 製造業の調整幅が再拡大(10月ISM製造業指数)

～先行き懸念から新規受注・雇用が大幅低下～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

23年10月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、46.7(前月49.0)と前月比2.3%低下し、市場予想中央値49.0(筆者予想49.6)を下回った。需要の鈍化のほか、米自動車メーカーでのスト等の影響で4ヵ月ぶりに低下し、製造業の縮小幅が再拡大したことが示された。また、縮小した業種が18業種中13業種(前月11業種)に増加、製造業国内総生産の75%が縮小した(9月71%の縮小)。

ISM製造業景気指数は、世界経済の鈍化を背景に、拡大縮小の分岐点である50を12ヵ月連続で下回り、製造業の調整期間は金融危機が起きた08年9月から09年7月の11ヵ月を上回った。ただし、底堅い国内需要等を背景に当時よりも落ち込みが小さく、製造業は深刻な調整を回避してきた。

10月の構成項目別の変化では、入荷遅延が上昇した一方、雇用、新規受注、在庫、生産が低下した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、入荷遅延が前月比+0.26%ptの押し上げ寄与となった一方、雇用が前月比▲0.88%pt、新規受注が前月比▲0.74%pt、在庫が前月比▲0.50%pt、生産が前月比▲0.42%ptの押し下げ寄与となった。

新規受注、在庫が需要鈍化や景気の先行き懸念を背景に50を下回り続けているほか、入荷遅延は供給制約の改善や需要の鈍化によって50を下回っている。加えて、雇用が再び50を下回り、雇用の減少が示された。雇用の縮小した業種数が18業種中10業種(前月8業種)と増加し、拡大した業種は、非鉄、一般機械、輸送機器、食品・飲料・タバコの4業種(前月7業種)に減少した。このような中、生産は管理などの強化によって50を維持した。

サブ項目では、輸出受注DIが49.4(前月47.4)と上昇し、輸出の減少幅縮小を示した一方、輸入DIが47.9(前月48.2)と低下し、輸入の減少幅拡大を示した。

インフレの動向を示す仕入価格指数は、45.1(前月43.8)と50を下回っており、財価格の下落継続が示唆された。商品別では、天然ガス、原油等が上昇した一方、プラスチック樹脂、アルミニウム、鉄鋼製品等が下落した。供給不足品では、引き続き電気部品、電子部品などが挙げられた。

ISM製造業景気指数

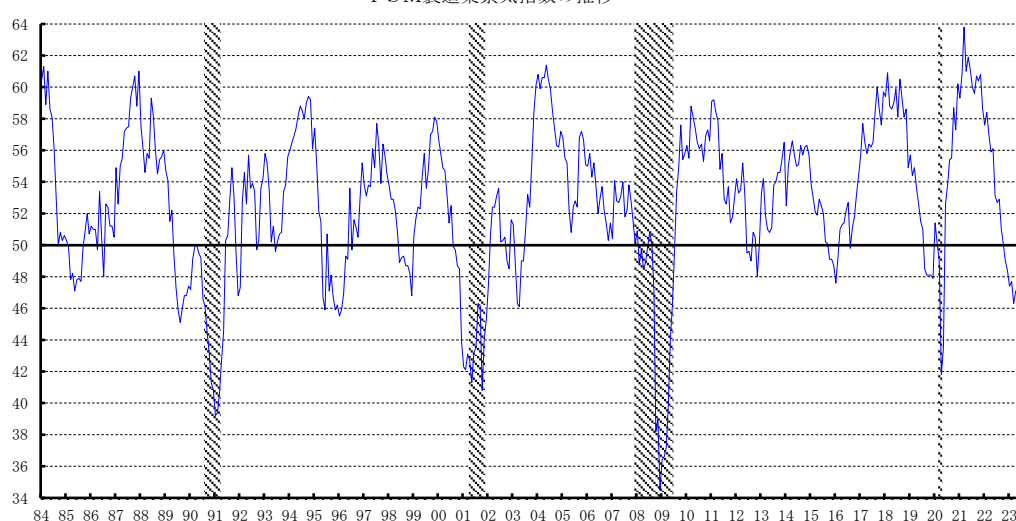
	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
22/10	50.0	48.2	51.9	49.9	53.0	46.8	45.3	46.6	46.5	50.8
22/11	49.0	46.8	50.9	48.9	51.1	47.2	40.0	43.0	48.4	46.6
22/12	48.4	45.1	48.6	50.8	52.3	45.1	41.4	39.4	46.2	45.1
23/01	47.4	42.5	48.0	50.6	50.2	45.6	43.4	44.5	49.4	47.8
23/02	47.7	47.0	47.3	49.1	50.1	45.2	45.1	51.3	49.9	49.9
23/03	46.3	44.3	47.8	46.9	47.5	44.8	43.9	49.2	47.6	47.9
23/04	47.1	45.7	48.9	50.2	46.3	44.6	43.1	53.2	49.8	49.9
23/05	46.9	42.6	51.1	51.4	45.8	43.5	37.5	44.2	50.0	47.3
23/06	46.0	45.6	46.7	48.1	44.0	45.7	38.7	41.8	47.3	49.3
23/07	46.4	47.3	48.3	44.4	46.1	46.1	42.8	42.6	46.2	49.6
23/08	47.6	46.8	50.0	48.5	44.0	48.6	44.1	48.4	46.5	48.0
23/09	49.0	49.2	52.5	51.2	45.8	46.4	42.4	43.8	47.4	48.2
23/10	46.7	45.5	50.4	46.8	43.3	47.7	42.2	45.1	49.4	47.9

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

10月は、全18業種のうち食品・飲料・タバコ、プラスチック・ゴム製品の2業種の拡大にとどまり、9月の5業種から減少した（下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）。主要6業種では、食品・飲料・タバコの1業種だけ成長した。一方、縮小した業種は、印刷・関連サポート活動、繊維、電気設備・部品、一般機械、加工金属、木材製品、コンピューター・電子機器、家具・同関連、紙製品、その他製造業、一次金属、化学製品、輸送機器の13業種と9月の11業種から増加した。非鉄、石油・石炭、アパレル・皮革製品は前月と変わらなかった。

先行きに関して、金利の大幅な上昇による需要鈍化の一方、米自動車メーカーでのスト終了を受けた生産回復が期待できるほか、在庫調整の進展を背景に、製造業部門は再び調整幅を縮小すると予想される。

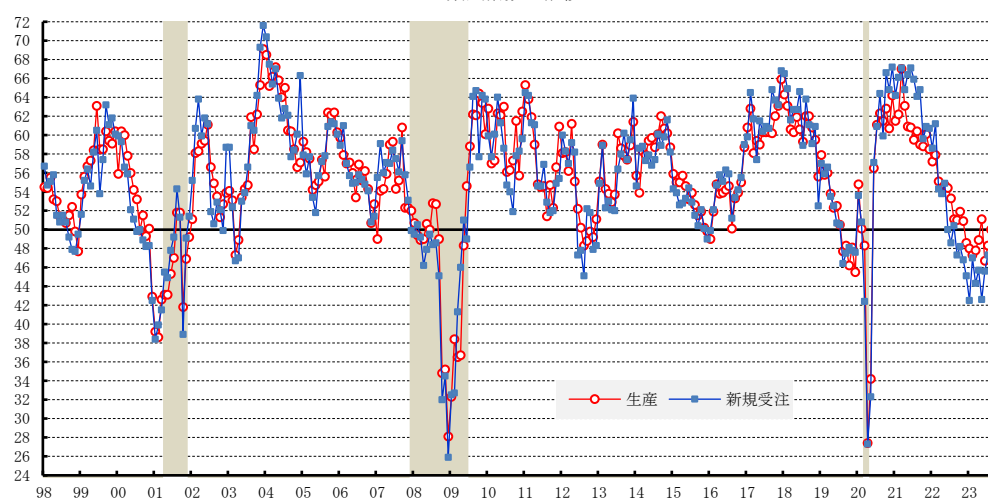
ISM製造業景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シャド一部は景気後退期。

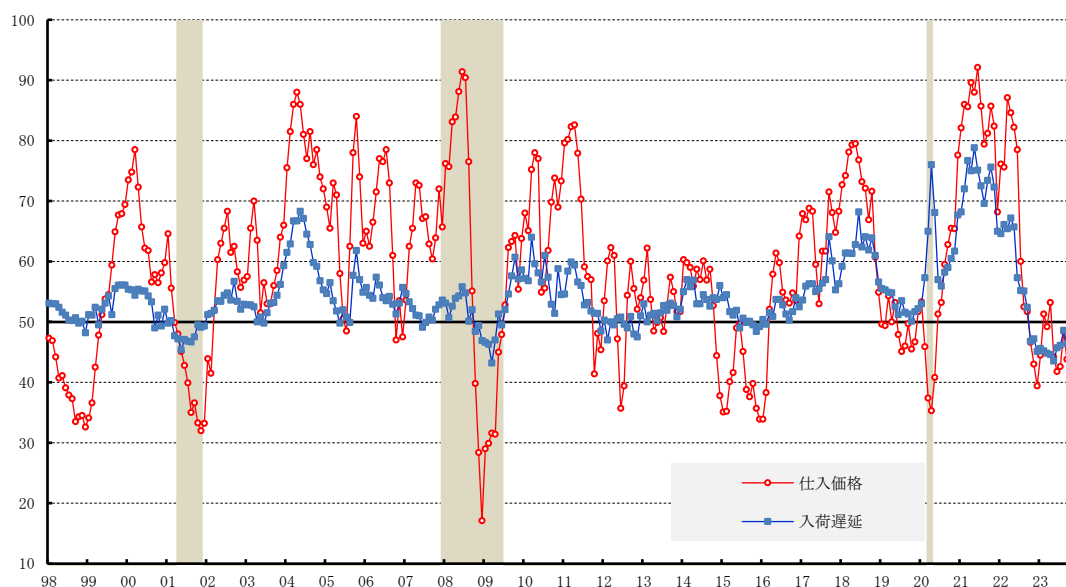
ISM景気指数の推移



(出所) ISM

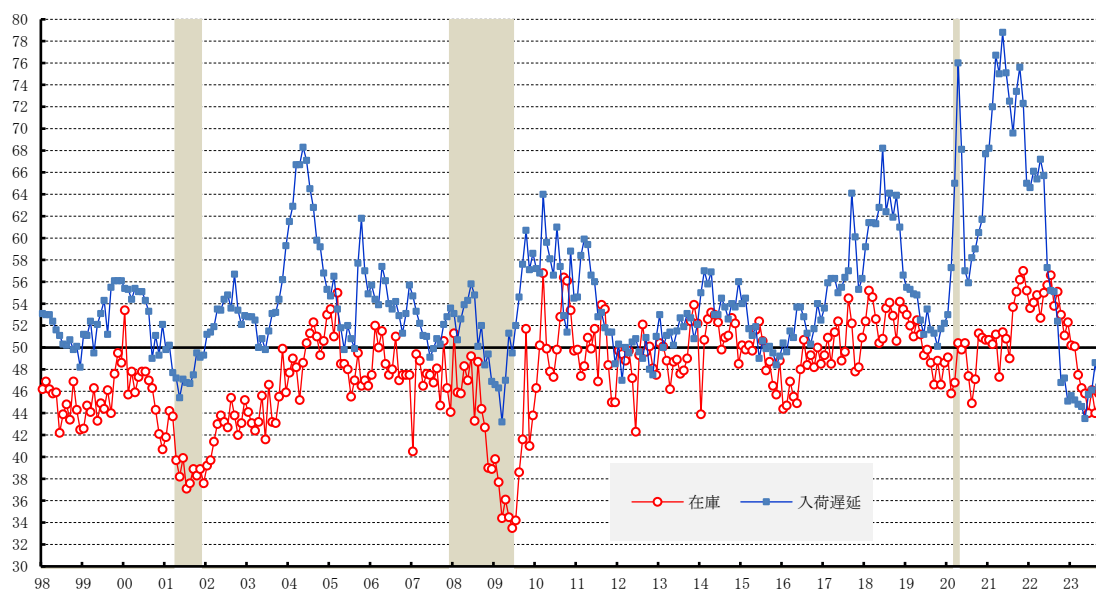
(注) シャド一部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) I S M (注) シャド一部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) I S M (注) シャド一部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

